



B班

まず、鎮魂、祈りがあって、この公園  
+これからの大島のことを祈る意味も

ハード先行に見える  
⇒「どういう伝え方」、「どういう使い方」をするこそが重要

【安全性・安心感】  
風がよく吹くので、砂や土が下の住宅まで届く  
樹が必要  
⇒地元への説明を丁寧に  
風向きによって家、洗濯物にも害が出る！！  
・水の流れも気になることはある

・島外の若者の思い、力を  
・島内の人と一緒に  
・「樹」が被災のストーリー復興の物語を語るようなガイドなどソフトの整備が必要

【使い方】  
・イベント（夜）の音や光は近くの方にとって問題  
・夜の使い方をもっと考えるべき

【施設】 まだ重要ではない  
・トイレ・駐車場は分散させて細かく必要  
・照明は安全面と近隣への公害と両面から検討  
・自転車・ベビーカーを通す道が必要  
・コストリカの例「語る・ストーリーのあるベンチ」  
・どこにでもある施設ではなくそのものに意味がある

対象地上部に団地、アパートなどがある



・スポーツ施設は家から近いほうがよいかも？  
・今の公園区域にこだわらずもう少し外した場所にしてはどうか

町をあげて公園にするには議論と説明がまだ不足している  
⇒常に、地元、被災者と島全体の両方を見て（復興に格差も生じている）

【祈る場・役割】  
・手を合わせる場、祈る場は必要  
・生活再建のためにも「公園」にすることは必要  
・亡くなった方を偲ぶ、心をいやすことをメインにしてはどうか  
○地元への「公園」についての説明が足りない  
○神戸など被災地の公園のつくり方を参考にしないといけない⇒事例が必要

【伝え方】  
・亡くなられた方のストーリーが分かるものしかけ  
・”場所、施設、空間”をわけてはどうか  
・バランスをもっと考えるべき  
・平らな場所には、家があった  
・災害後、残った樹を残す、わかるようにする  
⇒残ったことには地形等の理由がある

【進め方】  
○周辺の地元の方、関わりあった方の意見を聞く機会がない  
○鎮魂の気持ちを受け止めるものになっていない  
○町からの説明不足

C班

【どんな公園がよい?】  
対象地について

- 立地が良い
- 立地を活かした施設づくり

観光の活性化につながる公園にしてほしい

【管理全般について】

- 公園をつくってからの維持管理が大変
- 町が管理するなら良いがお金が無い中、町民が管理するのは大変

⇕

- 各主体によるメリット・デメリットが知りたい

**要望**  
管理を「都」にお願いしたい

- 役所、町民、事業者と協力して管理できるとよい

【公園のPR】

- おもしろい動画をのせる

【地域物産】

- アクセスが悪いので行きにくい
- 売店があった方がよい
- ぶらっとハウスのようなところがよい

【スポーツ】

- スポーツゾーンはできれば大きいほうがよい
- スポーツで活性化させ、人を誘致できたらよい
- スケートパークは大島で人気



- スポーツ施設は家から近いほうがよいかも?
- 今の公園区域にこだわらずもう少し外した場所にしてはどうか

【公園の名前のつけ方】

- 全国に公募をかける
- インターネットによる公募
- You Tube で公募

【公園の名前】

- 祈りと復興公園
- 災害メモリアルパーク神達
- ナチュラルパーク
- 災害祈念公園

【管理】

全体

- 管理は色んな人を巻き込んでいかないといけない
- スポンサーがつくことは可能か?

花

- 花の管理は大変
- 花の森につばきを植えたい
- 日本一のつばき園で観光振興をし、島の活性化につなげる
- つばきをみんなで植えたい
- 島固有の花⇒ツツジ、ツバキ、アジサイ

遊具

- 遊具も管理が必要